

えちぜん 議会たより

vol.
75
2024.2.1



越前町

人と技
海土里織りなす
快適なまち



自分たちで作った門松の前で（認定こども園たいら保育園）

目次

- 第3回臨時会・12月定例会報告 …… 2P～3P
- 議員6人が一般質問 …………… 4P～9P
- 議会議員視察研修報告 …………… 10P
- 出欠状況・表紙の写真・
市町議会議員合同研修 …………… 11P
- がんばってます！・編集後記 …………… 12P



門松づくり

第3回臨時会

会期/10月5日

専決処分の承認

温泉施設の修繕

890万円
南部温泉施設の源泉ポンプが故障したため、取替工事を計上する。

第3回臨時会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
承認第18号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町一般会計補正予算(第9号))	全会一致承認
承認第19号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町温泉事業特別会計補正予算(第2号))	〃
議案第50号	和解及び人身事故に係る損害賠償額の決定について	全会一致可決
議案第51号	令和5年度越前町一般会計補正予算(第10号)	〃

専決処分の承認

災害復旧事業

1億3,315万3千円
大雨により被害を受けた道路施設や農地・農林業用施設の復旧に係る工事を計上する。



町道広野線

12月定例会

会期/12月6日~12日

条例

越前町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について

越前町上水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

簡易水道・公共下水道・集落排水事業において、地方公営企業法を適用し、地方自治法に基づく特別会計から地方公営企業法に基づく特別会計に移行することに伴う条例の制定および関係条例の一部を改正する。

越前町手数料徴収条例の一部改正について

動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、狂犬病予防法における特例制度を適用し、犬の登録手数料を無料とするため、条例の一部を改正する。

越前町国民健康保険条例の一部改正について

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の改正により、出産予定または出産した被保険者の産前産後期間に係る国民健康保険税の減額制度が創設されたことにより、条例の一部を改正する。



ふるさと納税寄附額の増加が見込まれることから、返礼品代等に要する委託料を追加計上する。
4億4,600万円



国・県の補助を受け、物価高騰により影響を受けている介護サービス等提供事業者を支援する。
1,416万2千円

高齢者福祉施設等物価高騰対策支援

障がい者自立支援給付事業
1,728万円
コロナウイルス感染症5類移行後、生活介護や就労継続支援等の利用者および利用延べ回数の増加により、扶助費を増額計上する。

補正予算

住民税非課税世帯等臨時特別給付金

1億1,998万7千円
国の補助を受け、物価高騰により家計への影響が大きい低所得者(住民税非課税世帯等)の生活を支援するため、1世帯あたり7万円を給付する。

子宮頸がん予防ワクチン接種
380万8千円
令和5年4月より、従来のワクチンに加えて9価ワクチンが導入され、接種件数が増加したことにより委託料を計上する。



朝日浄化センター 水中攪拌機オーバーホール工事

480万円
朝日浄化センターの水中攪拌機が、経年劣化により故障したため、工事費を計上する。



越前がにミュージアム



道の駅「越前」

観光施設改修・タンク取替

640万円
越前がにミュージアムの空調用冷却配管膨張タンクの故障による取替工事および道の駅「越前」の雨漏りによる屋根改修工事を計上する。

12月定例会に提出された議案等

■全会一致した議案

議案番号	件名	議決の結果
報告第8号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	報告のみ
承認第20号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町一般会計補正予算(第11号))	承認
承認第21号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町一般会計補正予算(第12号))	〃
承認第22号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町一般会計補正予算(第13号))	〃
議案第52号	人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第53号	越前町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	〃
議案第54号	越前町上水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	〃
議案第55号	越前町手数料徴収条例の一部改正について	〃
議案第56号	越前町国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第57号	令和5年度越前町一般会計補正予算(第14号)	〃
議案第58号	令和5年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第59号	令和5年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第60号	令和5年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第61号	令和5年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	〃
議案第62号	令和5年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第63号	令和5年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第64号	令和5年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第65号	令和5年度越前町上水道事業会計補正予算(第2号)	〃

■賛否が分かれた議案 (賛成:○ 反対:× ※議長は採決に加わりません)

議案番号	件名	議決の結果	小松議員	吉田議員	石田議員	長谷川議員	中西議員	高田議員	藤野副議長	米沢議員	佐々木議長	伊部議員	笠原議長	木村議員	北島議員
請願第2号	健康保険証廃止の中止を求める請願	反対多数不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	-	×	×	×	×

※総務文教厚生常任委員会での意見(一部を抜粋して掲載)
「マイナンバーカードに関する事業は、国策であり、国の責任において継続して取り組まれるべきものである。」などの意見があった。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



中西 清 議員

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



石田 和朗 議員



▲学校給食の様子

町長 学校給食の無償化については、令和3年6月および令和4年9月定例会での一般質問でも答弁したとおり、来年度から完全無償化を目指していく。

中西 学校給食については、令和4年度に3学期分、令和5年度に2学期、3学期分の無償化を実現していただいたが、来年度はぜひ全学期分の無償化を実現していただきたい。

学校給食の完全無償化について

学校給食の無償化は？

小・中学校編成に伴う保護者の経済的な負担軽減について

保護者の経済的負担減は？



中西 小中学校の再編については、これまで各地区で説明会および懇談会が開催され、多くの意見もあられますが、今後、再編を進めるにあたり、以下の点について検討願いたい。特に再編完了後は、事業費や町費負担の人員費などの縮減が見込まれると考えられる。それらを原資に保護者の経済負担を軽減することで、再編のメリットを保護者に実感していただくことが重要ではないでしょうか。再編後は、再編時の学用品のみの支給にとどまらず、町の就学援助金の支払い内容となっている修学旅行費や校外活動費の無償化を検討願いたい。

町長 スクールバスは児童・生徒の登下校時刻に合わせて運行しているため、路線バスやほかの交通機関を利用することは考えていない。

中西 児童・生徒の登下校時間に格差が出ないよう配慮し、クラブ活動で定時に下校できない場合に保護者の迎えを要しないよう配慮願いたい。必要に応じて路線バスや小型車、例えばチャイコエッセンの利用を検討していただきたい。



石田 文部科学省選定の映画「おしよりん」を観た。おしよりんとは、田畑を覆う雪が固くなった状態を指す福井の言葉で、丹南地区では「凍みる」と言う。おしよりんになれば、回り道をしないで学校や好きなどころへ行ける。映画の内容は、福井県の眼鏡産業の礎を築いた増永眼鏡を描いた創始者サクセスストーリーだが、冒頭で福井県の観光スポットを紹介するPR映画が流れ、令和6年3月の北陸新幹線福井延伸開業を見越した作品である。県下17市町が映画撮影箇所、スポットライトがあてられた映像の大半が増永眼鏡工場の看板が掲げられた萩野小学校箕松分校で、見覚えがある校舎階段の映像は懐かしかった。全国で廃校、閉校、休校が数多くあるが、中にはリニューアルなど成功例がある。昭和30年頃の町内小・中学校、分校の数と、現在のようになっているのか伺う。



▲萩野小学校箕松分校

教育委員会事務局長 昭和30年頃は、朝日地区は、小学校3校、分校3校、中学校2校、宮崎地区は、小学校1校、分校が2校、中学校は1校、越前地区は、小学校5校、分校が2校、中学校が2校、織田地区は小学校2校、分校が4校、中学校1校で、町内全体では、小学校と分校それぞれ11校、中学校が6校の計28校であったが、現在は、小学校8校、中学校4校の計12校である。残りの16校は、箕松分校以外は再整備され、集会施設、観光施設、保育所などで利用されているところもあるが、取り壊して更地になっているところもある。

石田 文部科学省は、未来につながるみんなの廃校プロジェクトを立ち上げ、少子化に伴う児童・生徒数の減少により、全国で毎年450校程度発生している廃校施設の約80%を様々な用途に活用し、地域に根ざした活動が可能な元学校ならではのメリットなど好例の事例集を出し、廃校活用推進を図っている。福井県は、北陸新幹線福井延伸を映画「おしよりん」を活用しPRしている。映画により名声を得た萩野小学校箕松分校を将来にわたって足跡を残していけないのが、老朽化が著しく、耐久性にも欠けている萩野小学校箕松分校の今後について、町長の所見を伺う。

町長 萩野小学校箕松分校は、昭和16年11月に落成し、児童数の減少により昭和60年度から休校、平成16年4月に廃校となった。その後、平成21年に廃校となった校舎を有効活用しようと箕松区、入尾区の地域住民や卒業生などによる「昭和の学校箕松分校運営委員会」が設立され、春の遠足や文化祭、収穫祭などを実施していたが、メンバーの減少や高齢化などにより、平成30年度をもって活



動を終了している。映画「おしよりん」では、増永眼鏡の工場として校舎が撮影現場となり、木造2階建ての建物は映画の中でも当時を彷彿させる1つのエッセンスになっている。福井県観光連盟では、今年10月と11月の2回、映画「おしよりん」の公開を記念し、ロケ地巡りバスツアーを実施している。しかしながら、本校舎は今回、このような形で活用され、今後存続するには多額の改修費用が必要となることや、入尾・箕松辺地総合整備計画年度別事業計画において、令和8年度解体となっているので、現時点では計画どおり実施する見込みとなっている。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



吉田 憲行 議員

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



高田 浩樹 議員



交通網の変化による影響と対策について

高田

2023年11月に国道417号冠山峠道路が開通、2024年3月に北陸新幹線が県内開業予定であり、2026年春には中部縦貫自動車道が県内開通の予定である。このような交通網の変化に伴う当町の観光、産業の効果についての見解と対策を伺う。

高田

新幹線県内開業に伴い並行在来線の経営が「JR西日本」から「株式会社ハピラインふくい」に移管されることにより、関西方面や中京方面の特急の往來は敦賀駅までとなる。

交通網の変化に伴い実際の距離や心理的距離が近くなれば、観光誘客などのチャンスであるとともに、県外からの移住の可能性、逆を言えば人口流出の可能性も考えられる。

当町を取り巻く交通網の変化による町民の方々の暮らしへの影響、人口流出や移住などに関する見解と対策について伺う。

町長

北陸新幹線の県内開業による県内の経済波及効果は、年間約309億円（ビジネス等の直接的な効果は約191億円）と試算され、当町においても観光や産業面で効果が期待できると考えている。

町長

国道417号冠山峠道路の開通および中部縦貫自動車道路の県内開通においては、中京方面からの物流や人流の増加により地域の活性化を期待している。

町長

並行在来線においては、特急がなくなることから、関西や中京方面へ特急で移動する際には、敦賀駅での乗り換えが必要となり、これまで以上に時間がかかることになる。新幹線を利用する際には「越前たけふ駅」での乗降が想定されるが、武生駅、鯖江駅から更に遠くなることで、町民の負担が増えると考えられる。

町長

今後、県外からの交流人口や関係人口の増加が見込めることから、当町として、定住人口増加に繋げるべく、現在、実施している施策をより広く発信していく必要があると考える。

高田

交通網の変化について、今後どのように検証や対応をしていくのか、また、町民の方々の暮らしに関わることにについて、どのようなサポートをしていくのかについて伺う。

町長

来年度から県において「観光DX」に取り組みすることから、これによる分析と観光連盟の実施するニーズや動向調査等を踏まえ、必要となる施策を講じていきたい。

町長



うお話をお聴きました。



交通網の変化により、新しい地域間交流の可能性もあると考えられるが、このことについての所見を伺う。

町長

これからの地域間交流については、小さな取り組みを足がかりに、大垣市、揖斐川町、沿線の池田町などの連携の可能性を探っていきたい。

今後、お互いのイベントを活用し、相互交流を深め、各種団体をはじめ多くの方々からアイデアをいただき、地域間交流を実施していきたい。

越前町の財政についてー持続可能な財政運営ー

吉田

町は、一般財源のうち町税の占める割合が毎年15%前後で、その他寄附金、使用料等の自主財源を含めても歳入の30%前後、残り70%は、普通交付税など依存財源である。ここで、歳入の40%前後を占める依存財源である普通交付税の一本算定について伺う。

総務理事

普通交付税は、基準財政需要と基準財政収入との差額に応じて交付され、基準財政需要額は、道路橋梁費、小・中学校費など費目ごとの単価に国勢調査人口や面積などの測定単位を掛け、それに人口密度や寒冷、積雪などの補正を加え、積み上げたものである。合併算定替は、市町村合併時に不利益を被ることのないよう、合併後10年間は、合併前の市町村が存続しているものとして普通交付税を算定。次に、一本算定は、合併後の新しい町として算定するもので、その交付税の額は前の合併算定時より小さくなり、越前町を含めた全国の合併した市町村は、激変緩和として5年をかけ、段階的に交付税が縮減されたところである。

吉田

今後、町の財政健全化に向け、町長が取り組んでいく方策を伺う。

町長

町の令和4年度における財政状況は、実質公債費比率9.0%、将来負担比率2.3%といずれも国が定めた早期健全化基準を下回っており、県内市町と比べても高い状況である。しかし、経常収支比率95.7%と県内市町と比較して極めて悪く、来年度以降も高い水準で推移し、財政の硬直化が続くことが予想される。また、突発的な災害等に対応するための財政調整基金は、現在、標準財政規模の15%以上の残高を確保しているが、減少傾向であり、今後も適切な残高を維持できるよう努力していく。町において取り組むべきことは、歳入に見合った堅実な財政運営を図り、町税や使用料などの徴収の強化、受益者負担の適正化、ふるさと納税の拡大など、財源確保を講じるとともに、公債費の抑制や事務事業の見直し、公共施設等のスリム化などに努める。真に必要なものについては予算を捻出することを基本とし、行政サービスの低下を招くことのないように努める。

選挙投票所についてー期日前投票の充実ー

吉田

町として期日前投票者数を増やすための方策はどのようなものか。また、町には、当日投票者50名前後の投票所が4か所あるが、これらの投票所を移動投票車等の投票に切り替えてはどうか。

総務理事

期日前投票の期間中、町広報紙やホームページでの選挙のお知らせ、町公式LINEや丹生高校生による防災行政無線を活用した投票の呼びかけを行っている。公職選挙法では、投票所は市町村の選挙管理委員会の指定した場所に設けることとされ、事前に投票所を告示するよう規定している。このため、投票日当日における車両などを活用した移動投票所は開設できないが、期日前投票では移動投票所の開設が可能であるため、移動期日前投票所の導入を検討する。また、投票所の再編についても選挙管理委員会において引き続き協議していく。



新幹線開業についてー関西圏、中京圏の位置づけー

吉田

3月16日に北陸新幹線が敦賀まで開業されるが、町として、関西圏だけでなく、関西圏、中京圏への宣伝、施策等の現在、今後の対策、関西圏、中京圏への位置づけを、伺いたい。

町長

現在、関西、中京圏に対し、町観光連盟と連携しながら、テレビやラジオ、新聞などの媒体を活用し、観光イベントや旬の食べ物、特産品などの情報を発信している。また、県と協力し、大学や旅行会社への訪問、観光商談会などへの参加など、PRを積極的に行うほか、カニ、水仙シーズンに敦賀駅からの直行ツアーバスの運行やタクシー、レンタカーの利用助成を行っている。新幹線開業後の本町への玄関口は、関東圏が福井駅と越前たけふ駅、関西、中京圏が敦賀駅となること想定され、直行ツアーバスの継続や各駅からのレンタカー助成事業の拡充の検討など、2次交通の充実に努める。今後、関東圏から新たな客層が見込めるが、関西、中京圏のお客様を大切に、県や観光連盟、商工会、近隣市町と連携し、さらなる観光誘客に努める。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



木村 繁 議員

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



笠原 秀樹 議員

新年度予算への取組みについて

笠原 新年度の予算編成にあたっての取組み、実現に向けての進行中の事案、成果が見られている事案を伺う。

町長

政策については、若い世代の町外流出が加速し、人口減少や少子高齢化が急激に進み、各分野に様々な影響を及ぼしていることから、定住促進策や少子高齢化対策、子育て支援策などを就任以来一貫して全力で取り組んできた。政策の主な取組状況については、少子化、子育て支援策では、子どもの医療費助成の対象を高校3年生相当まで拡大し、本年度から、保険適用医療費の自己負担額を無償化した。



さらに、小・中学校の学校給食費を昨年度は3学期分を、本年度は2・3学期分を無償化し、令和6年度には完全無償化に向けて取り組んでいく。高齢者の生活支援策については、身体的に不安のある方を対象に、看護小規模多機能型居宅介護事業所を併設した越前町型サービス付高齢者向け住宅を、令和6年春オープンを目指し、地域医療振興協会と連携して整備を進めている。さらに、コミュニティ交通体系の見直しを行い、デマンドタクシー「チョイソコ」を導入し、利用者の利便性の向上を図っている。



消防団組織の拡充・強化について

木村 消防団の拡充・強化は？

若者の入団を促すにあたり、機能別団員、学生団員への見解について、消防団への社会の理解をさらに広げるために必要な強化・拡充に対する行政としての方策および方向性について町長の所見を伺う。

町長

消防団の拡充・強化については、消防団を中心とした防災ネットワークが既に構築され、昨今の防災対策の基本である地域防災力の充実・強化が図られている。越前消防団は、過去10年間で、57人減少した。今年度の団員数310人中20代は33人と極端に少ない。機能別団員、学生団員への見解については、越前消防団には機能別分団として災害支援班が設けられ、災害時における団員の補助役として、主にOB団員が入団し、若者の入団はない。また学生団員もいないため、若者が入団しやすい環境づくりに努める必要がある。

次に、消防団の強化・拡充に対する町の方針、方向、方策、方向性については、報酬額の引き上げなどの待遇改善のほか、団員の加入促進の支援となつている形式重視の操法大会の見直しや、団員のアンケート結果



木村 消防団に、町職員が何名いるのか。積極的に消防団活動に参加する意識強化を図っていただきたい。

町長

町職員は、機能別団員3名を含む21名が在籍している。また、町内在住の若手職員に対し入団勧奨を行っており、今後も引き続き意識醸成に努めていく。

本町における家族介護者の実態について

木村 本町における家族介護者の実態および行政としての今後の方策、方向性について伺いたい。

民生理事

町における家族介護者の実態は、昨年の在宅介護実態調査では、主な介護者は子が55.7%で女性が62.9%、年齢は60代が39.3%で最も多く、60歳以上は72.2%である。虐待相談・通報件数は、2022年度は12件で、虐待の要因として社会的交流が少ないことや、認知症や身体状況の悪化で介護負担が増えたことなどがあげられる。介護者支援の方策として、社会福祉協議会の協力の下、家族介護支援事業を実施し、介護講座や各種相談業務を実施することで、介護者の負担軽減を図っている。また、年2回、ケアマネージャーに、介護負担調査を実施し、介護者の状況や家庭環境、介護負担を確認している。特に介護負担の重い家庭については、町とケアマネージャー、関係事業者が解決策を検討し、対応している。来年度には、織田病院に隣接したサービス付高齢者向け住宅および看護小規模多機能型居宅介護事業所が開設され、医療依存度の高い人や退院直後で状態が不安定な人の療養を支え



移住定住支援策については、本年度、奨学金返済支援制度を創設し、令和6年度から実施する。若者が本町へ移住定住していただくために、新築住宅にかかる助成制度の創設や、空き家・空き地情報バンクの創設など支援を進めている。旧丹生合同庁舎跡地の利活用についても定住促進の観点から、住宅用地の造成を含め有効活用を検討している。



小・中学校の再編については、小学校は引き続き協議を重ねながら進め、中学校についても、当初の基本方針案を前倒しして協議を進めていく。令和6年度の当初予算編成に当たつての方針については、本町を取り巻く環境は依然として厳しく、課題が山積みしている中で、何が必要かを見極め、小さく賢く成長していくこと



が大切と考える。提案したマニフェストに基づき事業を推し進めてきたが、検討しているものや実現できていないものについては、強い決意を持って事業に着手していくほか、マニフェスト以外にも公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合など総合的に取り組んでいく。そのためにも歳入においては、ふるさと納税のさらなる拡大を図り、財源を確保し、歳出においては、事業の取捨選択と歳入に見合った行政運営を進めていく。

笠原

厳しい行財政の中、成果を収めながら前進していると思うが、今後、財政破綻しないよう公共施設等の改善・統廃合に取組んでいただき、越前町の発展のためにご尽力いただきたい。

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

9月16日～12月12日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会 合 名	佐々木 議長	藤野 副議長	小松 議員	吉田 議員	石田 議員	長谷川 議員	中西 議員	高田 議員	米沢 議員	伊部 議員	笠原 議員	木村 議員	北島 議員
9	27	水 町村議会広報研修会(東京)	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-
	2	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	水 議会広報特別委員会	-	○	○	-	-	○	○	○	×	-	-	○	-
	5	木 議会運営委員会 第3回臨時会	○	-	-	-	-	○	-	○	×	×	-	○	○
	6	金 嶺北町村議会議長会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	11	水 議会広報特別委員会	-	○	×	-	-	○	○	○	×	-	-	○	-
	12	木 公立丹南病院組合議会議員行政視察	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-
	13	金 (大阪府・兵庫県)	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-
10	16	月 越前町議会議員視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	17	火 (愛知県)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	18	水 鯖江・丹生消防組合議会議員視察研修(大阪府)	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-
	20	金 鯖江・丹生消防組合議会議員視察研修(奈良県)	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-
		市町議会議員合同研修会	○	○	出張	出張	○	○	○	○	×	出張	出張	○	×
	27	金 議会運営委員会 丹南地区市町議会議長会議員研修会	○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	○	○
	1	水 福井県丹南広域組合議会議員視察研修	×	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
	2	木 (静岡県)	出張	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	月 議員月例会	出張	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	8	水 鯖江広域衛生施設組合議会議員行政	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
	9	木 視察(岐阜県・滋賀県)	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
	21	火 県後期高齢者医療広域連合議会定例会	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		鯖江・丹生消防組合臨時会	-	-	○	○	-	-	-	-	×	○	-	-	
	24	金 議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	○	×	-	○	○
	4	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	6	水 12月定例会 本会議(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	7	木 12月定例会 本会議(2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	8	金 12月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	12	火 12月定例会 本会議(3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
		議会広報特別委員会	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-

令和5年度 越前町議会議員視察研修報告書

今年度は、全国800の自治体で利用される電子申請サービス「LINE 連携機能」を初導入し、さらには本町の友好都市である「愛知県西尾市」と、越前町と並ぶ日本六古窯の産地のひとつである「愛知県常滑市」を視察しました。

- 日 程 令和5年10月16日(月)～18日(水)
- 参加者 越前町議会議員13人、越前町長、議会事務局3人



西尾市 「LINE を活用した行政サービスのデジタル化について」

ともだち登録者は全体の6割強

西尾市の人口約17万人のうち、西尾市公式LINEのともだち登録者は10万人を突破している。これは、ユーザーエクスペリエンス(便利で使いやすい経験)を重視しながら、無料スタンプの作成、新型コロナウイルスワクチン接種の申込み機能の付加、広報物・通知等への登録QRコード印刷等の幅広い取組みが功を奏している。

申請・通報機能で利便性向上

全国初となった電子申請機能やオンライン決済にも対応し、住民が利便性を実感できるものとなっている。今年9月から「LINE 通報」として、住民が道路等の公共物の損傷や動物の死がいなどの位置情報、状況写真を通報できるサービスも導入されている。

質問 LINE 通報を利用する場合に通報者個人情報は伝えなければならないか。

回答 必要ない。なお、情報収集がメインであり対応完了のお知らせはしない。ただし、3か月ごとに対応した業務を公表する予定。

質問 20代以下の利用者が少ないのは何故か。

回答 イベント情報などのプッシュ通知は好評であり、就職支援セミナーなどのお知らせもしているが登録が少ない。その年代に魅力あるコンテンツを提供しないといけない。



担当者から説明を受ける議員

常滑市 「常滑やきもの散歩道と観光振興について」

やきもの散歩道の歴史と現在

常滑市では、昭和48年に窯業が盛んであったエリアをベースに「やきもの散歩道地区」として散歩コースなどを設定した。以降、景観・観光資源として活用され、年間20万人以上が訪れている。地区内には伝統的な窯屋やレンガ造りの煙突、焼き物を使った擁壁などのほか、空き家をリノベーションしたカフェや窯元による直接販売なども見られる。

景観計画の策定による資源保存

市内の中部国際空港、ボートレース常滑、大型商業施設などの進展により、中高層マンションが立地したりするなど、地区景観の阻害が課題となったため景観計画が定められた。新築や改修は制限されるが、景観重要建造物やレンガ煙突などの保存工事には助成制度が設けられるなど、焼き物の町を守り育む取り組みがなされている。



質問 散歩道による主な観光振興策は何か。

回答 散歩道内にあるカフェへの関心が高い。地元鉄道会社とタイアップして乗車券とカフェチケットのセット販売を行うなど観光客を呼び込んでいる。



常滑焼の土管を擁壁にした街並み

10/20

市町議会議員合同研修会に参加

10月20日、県自治会館において、地方議会の活性化と地方議員の更なる知識や教養を深めるため、市町議会議員合同研修会が開催されました。市議会議長太田雅幸氏とブランド総合研究所代表取締役社長田中章雄氏を招き、県内の市町議会議員と議会議務局職員が参加しました。「政治分野におけるハラスメント」と「福井県の最新の魅力度ランキングを分析！」北陸新幹線延伸を福井ブランドにつなげるには「〜」についての講演が行われました。研修会で得たものを、今後の議会活動に活かしていきます。



表紙の写真

認定こども園 たいら保育園(下河原)

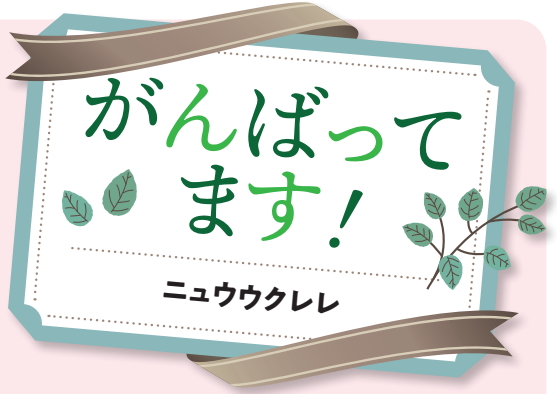
(上段・下段写真) 保育園に歳神様をお迎えするために、年長児が仲間と力を合わせて門松を作りました!!今年度は雪かきをしてから、土を入れました。素敵な門松に仕上げ、記念の写真撮影。鏡餅もみんなでお餅をついて飾りましたよ。よい年になりますように。



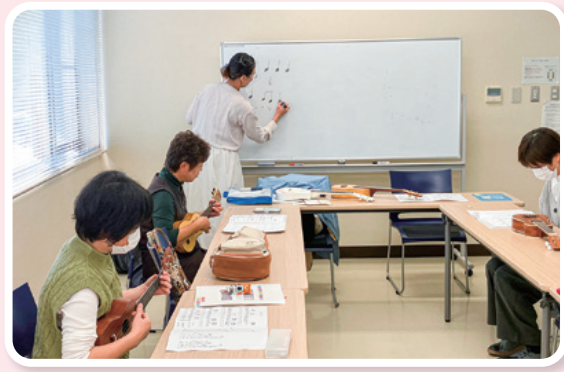


私たち「ニューウクレレ」は、2016年頃に結成し、現在、女性5名の40歳から70歳までのメンバーで楽しく活動しています。

皆さんのご紹介を
願います



Interview activities



活動内容について
教えてください

毎月第4水曜日の午前9時30分から午前11時まで、織田コミュニティセンターで練習しています。ウクレレは、手軽で、弾きやすい楽器です。講師の先生は、女性の方で優しく丁寧に教えてくださり、現在、ジブリ映画でお馴染みの曲「いつも何度でも」や「となりのトトロ」その他「Love Me Tender」など色々な曲に挑戦しています。



最後に一言お願いします

地元（織田地区）の文化祭や町文化協議会のぬくもりコンサート、老人ホーム等で演奏できることを目標に練習しています。楽しい教室ですので、皆さん一緒にウクレレを弾いてみませんか。

(インタビュアー 長谷川)

お問い合わせ
山崎 二云区美
0778-3611203

傍聴席へどうぞ 次の定例会は3月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

新春を迎え、早一ヶ月が過ぎました。元旦早々に発生した能登半島地震において被災された地域の一日も早い復興と平穏な生活が戻ることを心よりご祈念申し上げます。

さて、大正から昭和に元号が変わった1926年から数えると今年は「昭和99年」で、3月には北陸新幹線県内開業、7月には1万円5千円、千円の新札がそれぞれ渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎の3著名人で発行される節目の年です。そして、我々の任期も1年余り、集大成である議員活動の一つとして、よりよい紙面作りにメンバー全員で知恵とアイデアを出し合い、何より健康に留意して汗をかきたいと思います。

(木村)

議会広報特別委員会

- | | |
|-----|--------|
| 委員長 | 長谷川 眞恵 |
| 委員 | 中西 清 |
| | 木村 繁 |
| | 米沢 康彦 |
| | 藤野 菊信 |
| | 高田 浩樹 |
| | 小松 宏 |

町ホームページ QRコード



(スマートフォン用)

町LINE QRコード



(スマートフォン用)

町公式動画チャンネル QRコード



(スマートフォン用)

バックナンバーは町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

町ホームページ 議会QRコード



(スマートフォン用)

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です